



THE SENDAI BANK
Disclosure

P R E S S O

仙台銀行 2008年中間期 ディスクロージャー誌 別冊 [エス・プレzzo]



ずっと、ずっと、 よろしくお願いします

佐沼支店（登米市）を新築移転オープン

全国有数の渡り鳥の飛来地である伊豆沼・内沼などの
豊かな自然に抱かれ、
街並みに藩政・明治時代の歴史の面影を残す宮城県登米市。
登米市迫町にある仙台銀行佐沼支店は、
登米市の当行中心店舗として
お客さまへの金融サービス機能をさらに充実し、
平成20年11月に新築移転オープンいたしました。



1 法人融資専門チームを配置
中小企業の皆さまの経営・融資相談等を専門に担当する「法人融資専門チーム佐沼分室」を配置しました。登米市及び周辺地区の中小企業の皆さまへ直接訪問し、事業ニーズによりスピーディーに対応してまいります。

2 個室の相談コーナーを設置
完全個室の相談コーナーを3ヶ所新設しました。より落ち着いた雰囲気の中で、資産運用やローンなどをじっくりとご相談いただくことができるようになりました。

3 全自動貸金庫を新設
お客さまの大切な資産を保管いただくために、全自動貸金庫を新設いたしました。防犯・耐火・耐震機能を備えておりますので、安心してご利用いただけます。

4 ゆとりある駐車場を整備
当行の「お客さま満足度アンケート」で「駐車場を使いやすくしてほしい」との要望が多いことから、駐車場を優先したレイアウトを採用し、ゆとりある駐車スペースを確保いたしました。

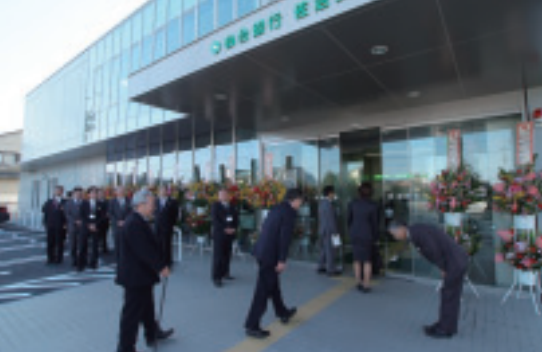
これからも仙台銀行はお客さまの声を大切にし、安心・快適・便利な店舗づくり、
人材教育に取り組み、より多くのお客さまから「支持・信頼される銀行」を目指してまいります。



仙台銀行は、設立の原点である「宮城県の中小企業の皆さまに役立つ」ことが企業使命です。
仙台銀行の業績やトピックスを2008年中間期 ディスクロージャー誌 別冊「Spresso (エス・プレッソ)」
に分かりやすく“濃縮”しましたので、どうぞご覧ください。

「S」 SENDAI BANK 「press」 内容の濃い情報発信 「O」 原点を忘れない
ゼロ

※2008年9月期の詳細な財務データにつきましては、「2008年中間期 ディスクロージャー誌 本編」をご覧ください。



佐沼支店新築移転オープン（平成20年11月）

contents

ずっと、ずっと、よろしくお願いします

頭取メッセージ 02

地域の皆さまとともに 06

- ◎ 仙台銀行の地域貢献活動 06
- ◎ 個人の皆さま 07
- ◎ 中小企業の皆さま 10
- ◎ 仙台銀行を希望する皆さま（人事・採用関係） 11
- ◎ トピックス 12
- ◎ 仙台銀行のCSR 13
- ◎ 仙台銀行のあゆみ 14
- ◎ 店舗ネットワーク 15

業績のハイライト（個別） 16



President Message

頭取メッセージ

仙台銀行 取締役頭取

三井 精一

済に対しても大きな負の影響を与え、世界経済全体を揺るがす問題に発展しています。宮城県においても、海外経済の減速や急速な円高の進行などにより景気の後退感が強まっており、地域金融機関による中小企業への円滑な融資が社会的に要請されています。

実は、当行の前身である「振興無尽株式会社」が誕生した昭和26年当時も、戦後の経済混乱が終息しつつあったとはいえ、宮城県の商工業界は深刻な資金難にあり、中小企業への円滑な融資が大きな問題となっていました。こうした事態を打開するため、当時の宮城県知事・佐々木家寿治氏が新たな地域金融機関の設立を提唱し、資本金の4割を出資した宮城県をはじめとして、仙台・塩釜・石巻・古川（現 大崎）・気仙沼・白石の県内地方自治体、商工会議所、地元経済界等が幅広く出資して設立した「県民銀行」が当行なのです。

これまで宮城県経済は、戦後の経済復興・高度成長期を経て、オイルショック、円高不況、バブル経済崩壊などの幾多の試練を乗り越えてきましたが、当行は常に地域の中小企業の皆さまとともに歩んでまいりました。

冒頭にお話をした今回の金融危機は、かつての試練を上回るスピードで中小企業にさまざまな負の影響を与えています。しかし、地域経済が厳しい局面にある今こそ、当行は再び設立の原点である「宮城県の方々のために役立つこと」に立ち返り、中小企業の皆さまへ積極的に支援してい

「宮城県の方々のために役立つ」ことが
当行の企業使命

地域経済が厳しい局面にある今こそ、設立の原点に
戻り、中小企業のために役立ちたい。

皆さまご存知のとおり、米国のサブプライム住宅ローン問題に端を発した世界的な金融危機は、世界各国の実体経

仙台銀行
取締役頭取

くこととお約束いたします。

「平成20年岩手・宮城内陸地震」の復興に向けて 今後も積極的に支援

平成20年6月に発生した「岩手・宮城内陸地震」では、宮城県北部の栗原市を中心に甚大な被害が発生しました。災害の爪あとは今なお残っており、一刻も早い復興を祈念しております。

当行では、被災された皆さまを支援するため、震災直後から、栗原市及び大崎市の一部店舗の営業時間を延長したほか、緊急融資や便宜的事務の取扱い、通帳等の再発行手数料の無料化、災害義援金などに取り組みました。また、法人融資専門チームが、被災された事業者の皆さまへ直接訪問し、融資・事業相談等に迅速に対応してまいりました。

また、1ヶ月後の平成20年7月には岩手県北部を震源地とする地震が発生したことから、観光業における風評被害は、直接被災された地域にとどまらず宮城県全域へと広がり、宿泊キャンセルが相次ぐなど非常に大きな打撃を受けました。

当行では、この風評被害を一刻でも早く乗り越え、平成20年10月からの「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン」を成功させるため、当行グループの全役職員1,200名がキャンペーンキャラクターの「むすび丸バッチ」を着用してPRに取り組みました。また、キャンペーン期間中に開催された大崎市岩出山の伝統行事「政宗公まつり」に当行の「すずめ踊りチーム」が参加したほか、当行ホームページに「がんばろう!宮城」サイトを新設し、仙台・宮城の魅力をまとめた「仙台銀行がある街・WEB限定版CM」を配信するなど支援してまいりました。

震災復興に向けて各分野で懸命な努力が続いておりますが、当行も「県民銀行」として引き続き積極的に復興支援に取り組んでまいります。

平成20年度中間決算について

金融危機による金融市場の混乱にともない 有価証券の減損処理を実施

平成20年9月期中間決算は、中期経営計画「新・好品質計画」に基づき法人営業の強化に積極的に取り組んだことから、中小企業向け貸出が平成20年3月末比で11億円増加の1,998億円となるなどの成果がありました。

しかしながら、米国発の金融危機にともなう世界的な金融市場の混乱を受けて、保有有価証券のうち取得価格に比べて時価が著しく下落した有価証券について7億円の減損処理を余儀なくされたことから、経常利益は3億円、中間純利益は1億円の減益決算となりました。

また、減損処理までには至らない有価証券の含み損も大幅に拡大したことや、世界的な金融市場の混乱が当面続くことも懸念されることから、誠に遺憾ではございますが、中間配当の実施を見送らせていただきました。株主の皆さまに深くお詫び申し上げますとともに、何とぞご理解を賜りますようお願い申し上げます。

なお、年間配当につきましては、現時点では未定であり、金融市場の動向及び平成21年3月期通期決算などを踏まえ、定時株主総会までに検討させていただく予定でございます。

中期経営計画「新・好品質計画」への取り組み

「より多くのお客さまに支持・信頼をいただける銀行」を目指して

現在、宮城県は県内総生産10兆円を目指し「富県宮城」に取り組んでいますが、その戦略の柱は「育成・誘致による県内製造業の集積促進」と「観光資源・知的資源を活用した商業・サービス産業の強化」です。

製造業については、既に宮城県への自動車工場等の進出が決定し、今後は第2次産業の底上げが期待されています。また、もともと当県は観光産業を含めたサービス業のウェイトが高いのですが、今回の「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン」を契機に、観光リピーターがさらに増加するように県民・企業が協力して取り組んでいるところです。その一方で、県外金融機関の仙台都市圏への進出攻勢も増しており、金融競争環境はさらに厳しさを増しています。

こうしたことから、当行は平成20年4月にスタートした中期経営計画「新・好品質計画」（平成20年度・21年度）において、宮城県という恵まれた地の利を最大限に活かしながら、金融サービス機能をさらに充実させ、「より多くのお客さまに

支持・信頼をいただける銀行」を目指していくことを経営目標として掲げています。

具体的には、「営業力の強化」、「企業風土の改革」、「内部管理態勢の強化」の3点を重点ポイントとして各施策に取り組んでいるところです。

法人融資専門チームを大幅に増員し、中小企業への支援体制を強化

「営業力の強化」については、主力業務である中小企業向け貸出を中心に注力し、地域経済の発展のため積極的に取り組む方針としています。

当行が平成19年度に実施した「お客さま満足度アンケート」（平成20年6月公表）によると、法人のお客さまから、「情報提供力や財務改善へのアドバイス力を高めてほしい」、「フェイス・トゥ・フェイスによる取引を増やしてほしい」などの要望が多数寄せられました。

当行では宮城県内の中小企業等の皆さまへ直接訪問し、融資のご提案や事業相談を専門に担当する「法人融資専門チーム」を設置していますが、このアンケート結果を踏まえ、平成20年度上半期に担当者を従来の6名から26名に大幅

に増員いたしました。また、本部のほかに古川支店（大崎市）・岩沼支店（岩沼市）・佐沼支店（登米市）に分室を設置し、担当者が駐在する体制といたしました。本チームは、各地域の営業店と連携して、今まで以上にお客さまへの訪問や面談の機会を増やしており、融資のご提案や事業相談を通じて中小企業等の皆さまのさまざまな事業ニーズにスピーディに対応しています。

「新・好品質計画」の構成図

【めざす姿】

より多くのお客さまに
支持・信頼をいただける銀行

【計画目標】

1. 営業力の強化

中小企業を対象とした地域密着型金融に経営資源を集中的に再配置するなど、営業体制を再構築することでお客さまのニーズにスピーディに対応し、競争力と収益力を向上させてまいります。

- ◎法人営業体制の強化
- ◎営業店事務の合理化
- ◎住宅ローン・個人ローンのトラバシ営業の強化
- ◎預かり資産の強化

2. 企業風土の改革

人事制度等の見直しにより職員のさらなる能力アップに取り組み、より活力のある企業風土づくりを進めます。

- ◎人事制度・人材育成への取り組み

3. 内部管理態勢の強化

業務範囲の広範化や取扱商品の複雑化によるリスクの多様化を踏まえ、内部管理態勢の高度化に取り組み、業務運営の健全性をさらに高めます。

- ◎内部管理態勢の高度化



このほか平成20年7月には、仙台・山形圏域でのビジネスネットワークを創造するため、きらやか銀行との共同商談会を初開催したほか、ABL保証（流動資産担保融資保証制度）や銀行保証付私募債の受託などを通じて、中小企業の皆さまを多面的に支援しています。

情報開示と人材育成を通じて「企業風土改革」に取り組む

情報開示については、株式公開銀行と同様の情報開示に取り組んでいます。今後も当行の経営・財務内容についてわかりやすい情報開示を進め、株主やお取引先の皆さまに当行の経営状況をより深く理解していただけるよう努めてまいります。

人材育成については、行員の意欲向上と能力発揮を目的に、平成20年10月に「社内FA（Free Agent フリーエージェント）制度」を導入しました。この制度は、業績達成や勤続年数など一定の資格要件を有する行員に対して、職務及び勤務地の希望を申請する機会を与え、人事異動に職員の希望を今まで以上に強く反映させていくものです。

また、銀行業務の多様化に対応するため、キャリア採用を継続的に実施するとともに、非正規社員である「パートナー社員」の積極的な能力開発・活用に取り組んでいます。これからも人事制度の見直し等を進め、より活力ある企業風土の醸成に取り組んでまいります。

「内部管理態勢の強化」がお客様の信頼につながる

銀行業務が多様化する中、業務運営に内在するリスクも多様化しており、これらのリスクを的確に把握・管理していくことが重要となっています。

こうしたことから、当行では、業務運営の健全性を強化する観点で、法令等遵守、お客さまへの説明態勢、リスク管理態勢など内部管理態勢の高度化を重要課題として位置づけ、継続的に態勢整備に取り組んでいます。

こうした内部管理態勢の強化に向けた取り組みは、銀行業務の礎である「お客さまからの信頼」を得ることにつながり、また、当行の行是である「信を万事の本と為す」にも通ずるものと考えています。

これからの仙台銀行

お取引先さまや株主の皆さまからの声を大切にして、金融サービスを充実させたい

世界的な金融危機の影響により、宮城県内の中小企業等の経営環境は非常に厳しい局面にあります。しかし、こうした環境であるからこそ、お取引先さまや株主の皆さまから寄せられる声は、私たち役員にとって何よりも大切な財産となります。是非、忌憚のない意見をお寄せください。金融サービスの充実に向けて反映させていきたいと思っております。

当行は宮城県の中企業の皆さまとともに歩む地域金融機関として、皆さまの信頼とご期待にお応えできるよう精一杯努力してまいります。今後も一層のご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

President
Message

頭取メッセージ

仙台銀行の地域貢献活動

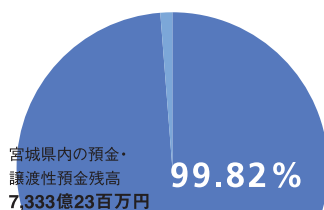
仙台銀行の地域貢献とは

当行は、昭和26年に宮城県知事の提唱により、「宮城県の中小企業の金融円滑化」を目的に、宮城県が資本金の4割を出資して設立された地域金融機関です。「宮城県の中小企業の方々のために役立つ」ことが、当行の企業使命であり、地域貢献であると考えております。

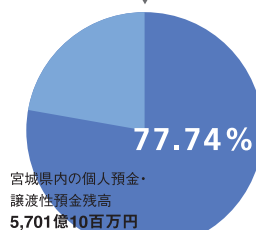
具体的には、事業資金やローンの提供という資金供給にとどまらず、経営相談やコンサルティング業務等を通じて中小企業の活動を多面的に支援していくことが、当行における地域貢献であると考えております。それと同時に、各種セミナーや講演会等の開催、地域行事への参加等も地域発展に必要なことであると考えております。

これからも当行は、地域貢献に関する情報をより一層積極的に開示し、地域の皆さまからご理解、ご満足いただけるよう努めてまいります。

■預金・譲渡性預金残高の内訳
(平成20年9月末現在)



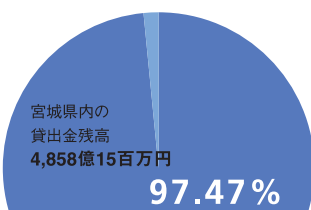
預金・譲渡性預金残高
7,346億24百万円



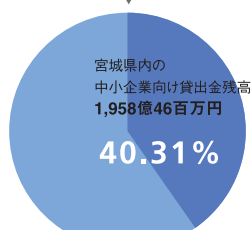
宮城県内の個人預金・譲渡性預金残高
5,701億10百万円

宮城県内の預金・譲渡性預金残高
7,333億23百万円

■貸出金残高の内訳
(平成20年9月末現在)



貸出金残高
4,984億1百万円



宮城県内の貸出金残高
4,858億15百万円

当行の預金・譲渡性預金の状況

当行の預金・譲渡性預金残高7,346億24百万円のうち、宮城県内のお客さまより7,333億23百万円をお預かりしており、当行の預金・譲渡性預金残高全体の99.82%となっております。

そのうちの77.74%を占める5,701億10百万円を、宮城県内の個人のお客さまからお預かりしております。

当行の貸出金の状況

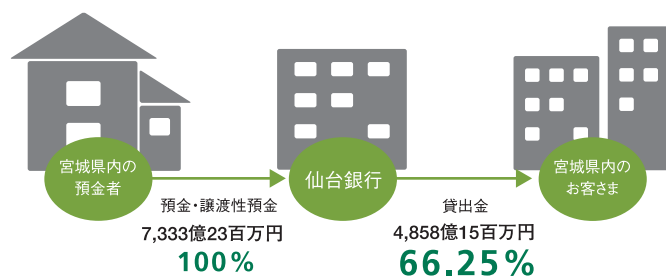
当行の貸出金残高4,984億1百万円のうち、宮城県内のお客さまへの貸出金残高は4,858億15百万円となっており、当行の貸出金残高の97.47%となっております。

そのうち40.31%を占める1,958億46百万円を宮城県内の中小企業の方々にご融資しております。

県内への資金供給

当行は、宮城県内のお客さまからお預かりした預金・譲渡性預金7,333億23百万円の66.25%を宮城県内のお客さまへご融資し、地域への円滑な資金供給を行っております。

■当行における宮城県内預金・譲渡性預金と貸出金の状況 (平成20年9月末現在)

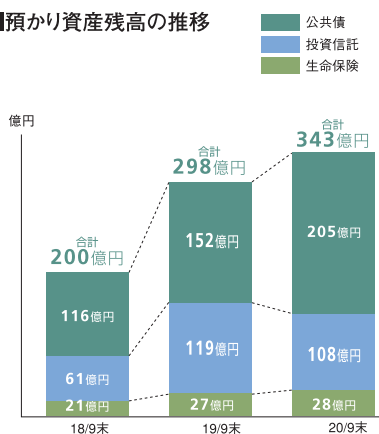


個人の皆さま

預かり資産残高

当行の公共債及び投資信託、生命保険を対象とした預かり資産残高は343億28百万円となっております。

■預かり資産残高の推移



(注1) 生命保険:個人年金一時払終身

(注2) 生命保険残高は成約累計残高としており、解約分は考慮していません。

投資信託

お客さまのあらゆる資産運用ニーズにお応えするとともに、ライフプランに合った資産形成のお役に立てるように、さまざまな投資信託商品を取り揃えております。

多様化するお客さまへのニーズにお応えするため、平成20年6月から、投資信託商品に3商品を新たに追加しました。

特定口座

お客さまのさらなる利便性向上を目的として、平成20年11月から投資信託取引にかかる「特定口座」の取扱いを開始しました。(ご利用対象者:個人のお客さま)

「特定口座」とは、当行がお客さまに代わって、株式投資信託の譲渡損益などを計算し「年間報告書」を作成するものです。「特定口座」をご利用いただくと、煩雑な所得税の確定申告の準備(譲渡損益の計算など)が軽減されます。

特別金利定期預金

平成20年12月1日から平成21年1月31日の期間限定で、「特別金利定期預金」を販売しております。

これからも、お客さまのニーズにお応えできる商品を提供してまいります。



株式会社 仙台銀行
登録金融機関 東北財務局長(登金)第16号
加入協会:日本証券業協会

金融商品に関する勧誘方針

当行は金融商品の販売等にあたり、以下の方針に沿って適切な勧誘を行います。

- ① わたしたちは、金融商品の内容を十分に熟知したうえで、その内容を正しくお客さまにご説明いたします。
また、断定的な判断の提供や事実と異なる情報の提供など、お客さまの誤解を招くような勧誘は行いません。
- ② わたしたちは、お客さまご自身のご判断によりお取引いただけるよう、リスク内容などの重要な事項について、書面での交付その他の適切な方法によりご理解をいただくよう努めます。
- ③ わたしたちは、お客さまのご迷惑となる時間帯には、金融商品の勧誘は行いません。なお、事前にお客さまのご了解をいただいている場合を除きます。
- ④ わたしたちは、お客さまに金融商品に関する十分かつ的確な情報を提供するため、当該金融商品に関する商品特性、事務処理要領などの習得、研さんに努めます。
- ⑤ わたしたちは、お客さまの知識、経験、財産状況及び当該金融商品の販売に係る契約を締結する目的に照らし配慮すべき事項を踏まえ、適切な商品の勧誘を行います。
- ⑥ わたしたちは、金融商品販売法、金融商品取引法及び関係法令等を遵守し、適切な勧誘が行われるよう、内部体制の強化に努めます。

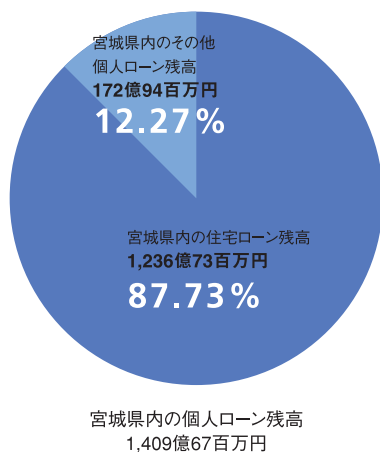
当行では、お客さまからの苦情、ご要望に対する相談を承っておりますので、ご遠慮なく営業店窓口までお申しつけ下さい。

個人の皆さま

県内の住宅ローン残高

当行の宮城県内の個人ローン残高1,409億67百万円のうち、住宅ローン残高は1,236億73百万円であり、宮城県内個人ローン残高全体の87.73%を占めております。

■宮城県内の個人ローン残高の内訳 (平成20年9月末現在)



住宅ローンプラザ

住宅ローンについて、ゆっくりご相談いただくために、本店5階に住宅ローンプラザを設置しております。

専門のスタッフがご相談に応じますので、お気軽にご相談ください。

	平 日	日曜相談会
営業時間	9:00～19:00	10:00～17:00
場 所	本店ビル5階	
休業日	土曜日・祝日・振替休日	
お問合せ先	フリーダイヤル 0120-3000-39	

住宅ローンへの取り組み

◎10年固定特別金利プラン

お客さまのニーズにお応えするため、平成20年10月から「10年固定特別金利プラン」を取扱っております。

(平成21年3月31日までに正式にお申し込みをされ、平成21年6月30日までに融資実行が可能な方が対象となります。)

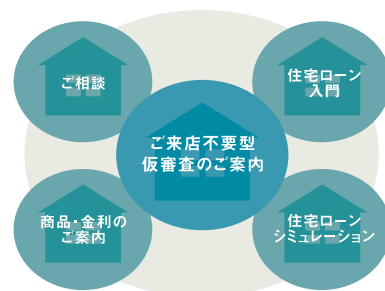
◎ず〜っと金利優遇プラン

「2年固定・3年固定・5年固定」の固定金利選択型住宅ローン＜自動更新型＞の当初固定期間について、基準金利より金利を優遇する「ず〜っと金利優遇プラン」を取扱っております。

◎ご来店不要型仮審査

住宅ローンのご利用を考えていても、銀行の窓口へ来店する時間がとれないお客さまのニーズにお応えするため、「ご来店不要型仮審査」の受付を行っております。

なお、当行ホームページでは、キャンペーン情報のほか、住宅ローン入門（諸費用、借換まめ知識など）や住宅ローンシミュレーションなど、住宅ローンに関する情報を掲載しておりますのでぜひご覧ください。



■住宅ローン「ご来店不要型仮審査」の流れ

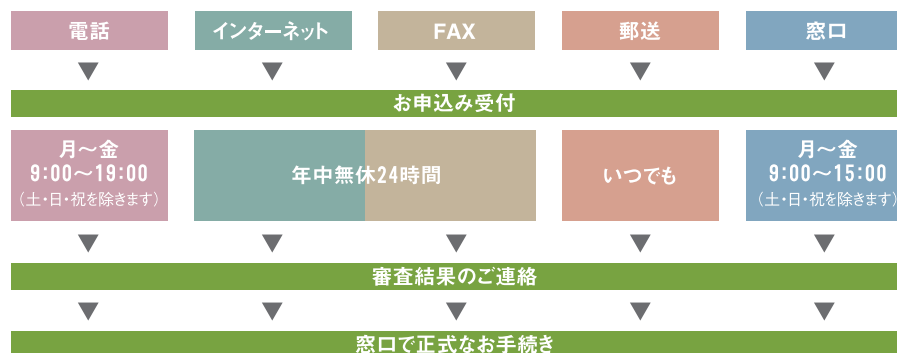


新スーパーフリーローン誕生！

ご好評いただいております「スーパーフリーローン」を平成20年8月に「新スーパーフリーローン」にリニューアルし、さらに安心してご利用いただけるようになりました。

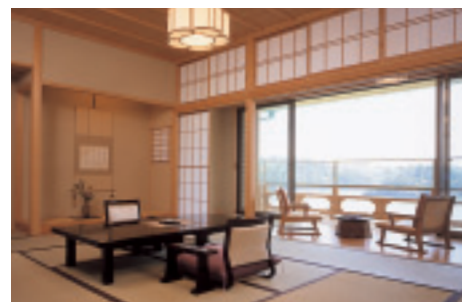
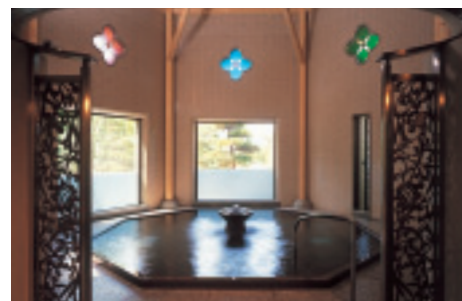


■新スーパーフリーローンのお申し込みの流れ



冬の感謝祭

平成20年12月1日から「冬の感謝祭」を実施しております。日頃から当行をご愛顧いただいておりますお客さまへ抽選で松島佐勘「松庵」さまの1泊2日ペア宿泊をプレゼントいたします。(平成21年1月31日まで)



松島佐勘「松庵」

中小企業の皆さま



事業承継セミナー

事業承継セミナー

お取引企業の皆さまの経営支援機能強化のため、平成20年8月に中小企業基盤整備機構東北支部と業務提携いたしました。

提携企画の第一弾として、平成20年9月に「事業承継セミナー」を開催し、事業承継に取り組むにあたって必要な税制の知識等について、専門家よりご講演いただきました。

商談会

お取引企業の皆さまのビジネスチャンスを創出するため、積極的にさまざまな取り組みを行っております。

平成20年7月には、宮城県と山形県の新たなビジネスネットワークの構築を目的として、さらやか銀行との合同商談会を開催いたしました。

仙台銀行ビジネスクラブ

仙台銀行ビジネスクラブ(略称SBC)は、お取引先の事業者の方を会員として構成しており、平成20年9月末現在の会員数は680社となっております。

平成20年10月には、SBC主催による「第2回楽天市場商談会」を開催しました。

この商談会では、インターネットモール「楽天市場」の店舗に興味を持つSBC会員企業等に、楽天株式会社へネットショップに関する疑問・

問題等について直接相談する場を提供し、ネットショップへの出店等についてサポートいたしました。



楽天市場商談会

法人融資専門チーム

中小企業等の皆さまへの融資支援体制をさらに充実させるため、平成20年8月と10月に法人融資専門チームを増員し、26名体制といたしました。

本チームは、本部のほかに古川支店(大崎市)・岩沼支店(岩沼市)・佐沼支店(登米市)に駐在し、中小企業等の皆さまの事業ニーズにスピーディーに対応しております。

ABL保証融資

当行は、不動産担保に過度に依存しない手法を活用した融資により、地域の中小企業の皆さまの多様化する資金調達ニーズに積極的に対応しております。

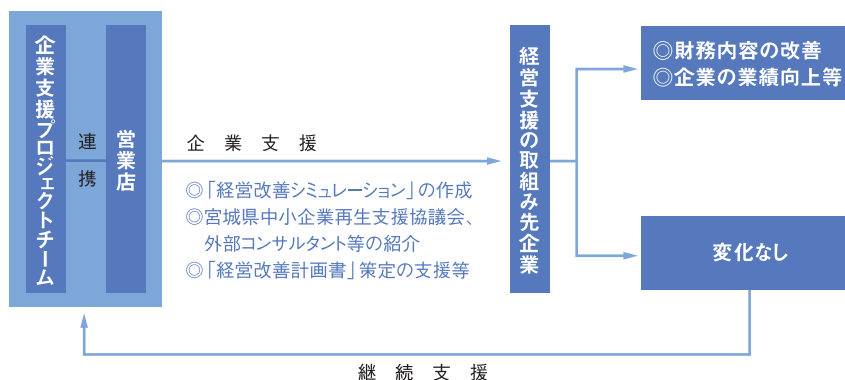
平成20年8月には、宮城県信用保証協会のABL保証を活用した当行初の取り組みとして、碎石・砕砂製造業者に対して運転資金の融資を実施いたしました。

ABL保証(流動資産担保融資保証制度)とは、平成19年に創設された信用保証制度で、中小企業の皆さまの棚卸資産及び売掛債権を担保とした融資に対して、信用保証協会が保証することで、資金調達の円滑化・多様化を図るものです。

経営改善支援

本部内に「企業支援プロジェクトチーム」を設置し、営業店とともに、お取引先の皆さまの経営環境や経営活動の分析、「経営改善シミュレーション」等による改善アドバイスを積極的に行っております。

■経営改善支援の流れ



仙台銀行を希望する皆さま（人事・採用関係）

当行は、「お客さまにご満足いただくためには、職員一人ひとりがやりがいを持って働くこと」が重要であると考えています。職員一人ひとりの特性や能力を生かすために当行は、さまざまな人事制度・採用制度を導入しております。

新卒採用

自分の力を地域へ役立てたい、自分の人生を充実させたいという熱意ある学生の皆さんを募集しております。

また、内定した学生の皆さんを対象に、営業店訪問等を実施し、銀行の仕事を肌で感じ、自分の将来像や目標を明確にしてもらうなど、入行までの準備を幅広くサポートしております。

中途採用

多様化する銀行業務に対応するため、銀行・保険・証券会社等の金融機関経験者や、豊富な専門知識・経験を持つ人材を募集しております。

社内FA制度

職員の意欲向上と能力発揮を目的として、平成20年10月に「社内FA (Free Agent フリーエージェント) 制度」を導入しました。

この制度は、業績達成や勤続年数など一定の資格要件を有する職員に対して、職務及び勤務地の希望を申請する機会を与え、人事異動に職員の希望を今まで以上に強く反映させていく制度です。

パートナー社員制度

非正規社員の戦力化を図るために「パートナー社員制度」を導入しております。

パートナー社員は、短時間パートナーとフルタイムパートナーに分かれております。フルタイムパートナーは、勤務時間が正社員と同一であり、必要資格の取得等により、正社員への登用も可能となっております。

また、結婚、出産、育児、介護等を理由として過去10年以内に退職した当行元行員をフルタイムパートナーとして再雇用しております。

インターンシップ

学生の皆さんに金融知識を学び、銀行業務を体験してもらうために、インターンシップを実施しております。

インターンシップでは、普通預金口座の開設や取引先訪問、預金窓口でお客さまの応対を体験するなど、銀行業務だけでなく社会人としてのマナーも体験してもらうカリキュラムとなっております。

詳しくは、当行ホームページ「採用情報」をご覧ください。



トピックス（平成20年4月～12月）

Topics	
平成20年 4月	◎古川支店 グランドオープンイベントを開催 (平成20年4月19日)
6月	◎「仙台銀行 夏の感謝祭」を実施 (平成20年6月2日～8月31日) ◎投資信託商品を3種類追加 (平成20年6月16日)
8月	◎「新スーパーフリーローン」の販売開始 (平成20年8月25日)
10月	◎「社内FA制度」を導入 (平成20年10月1日) ◎「住宅ローン10年固定特別金利プラン」を販売 (平成20年10月1日～平成21年3月31日)
11月	◎佐沼支店 新築・移転オープン (平成20年11月4日) ◎秋季講演会を開催 (平成20年11月13日)
12月	◎「仙台銀行 冬の感謝祭」を実施 (平成20年12月1日～平成21年1月31日) ◎「特別金利定期預金」を販売 (平成20年12月1日～平成21年1月31日)

講演会

当行では、毎年1月と11月に本店9階講堂において講演会を開催しております。

平成20年11月に開催した秋季講演会では、「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン」を応援するため、東京農業大学教授の小泉武夫氏を講師に迎えて、「仙台・宮城の『食の魅力』再発見」をテーマにご講演いただきました。



東京農業大学教授 小泉武夫氏

「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン」応援サイト

宮城県では、平成20年6月の岩手・宮城内陸地震及び7月の岩手県沿岸を震源とする地震により、多大な被害を受けました。

当行では、これらの震災を乗り越え、大型観光キャンペーン「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン（平成20年10月～12月）」が成功することを願い、平成20年8月に独自の応援サイトを掲載しました。（平成20年12月まで掲載）



営業店レター

営業店エリアのさまざまな情報を当行ホームページ「営業店レター」に掲載しております。

「営業店レター」は毎月更新し、営業店の紹介のほか、各エリアのイベントやおすすめスポット等の地域情報を掲載しております。



営業店レター（岩出山支店）

仙台銀行のCSR

公益信託「仙台銀行まちづくり基金」

宮城県内でまちづくり活動等に取り組んでいる方々を応援するため、平成4年6月に創業40周年記念事業として公益信託「仙台銀行まちづくり基金」を設立いたしました。

設立以来17年間での助成累計は、63先、総額785万円となっております。



鳴子温泉川渡地域づくり委員会（大崎市）



将監支店

職場見学

小学生や中学生を対象に、「銀行の仕事」をより理解してもらうことを目的に、本店及び支店において職場見学を行っており、平成20年度上半期は13回開催しました。

職場見学では、銀行業務の説明やお札の数え方体験、銀行窓口の見学等を行っております。

なお、見学風景はホームページ「仙台銀行をみてみよう!」に掲載しております。

みやぎっこ子育て家庭応援事業



宮城県子育て支援センター

「みやぎっこ子育て家庭応援事業」とは、宮城県と市町村が協賛店等と連携・協力しながら、子育て

家庭を地域全体で支援するため、平成20年6月から実施している事業です。

当行では、県内全営業店において、「みやぎっこ応援カード」を提示したお客さまに景品をプレゼントしております。

また、妊娠中のお客さまやお子さま連れのお客さま等が安心・安全にご来店いただけるように、県内5店舗（巨理支店・古川支店・岩出山支店・岩ヶ崎支店・佐沼支店）において、おむつ交換コーナーや多目的トイレを設置しております。



本店

無料法律相談室

当行顧問弁護士による無料法律相談を本店2階相談室にて毎月開催しております。（予約制）

地域行事への参加

本店のある仙台市では、1月の「どんと祭」、5月の「仙台青葉まつり」、8月の「七夕まつり」と四季折々に行事が開催されます。当行は地域の一員として、積極的にこれらの行事に参加しております。

また、各支店の所在地で行われる行事にも積極的に参加し、地域の活性化に協力しております。

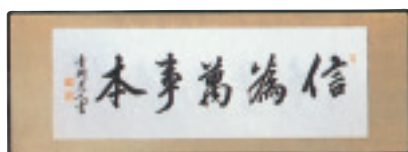


仙台青葉まつり「すずめ踊り」

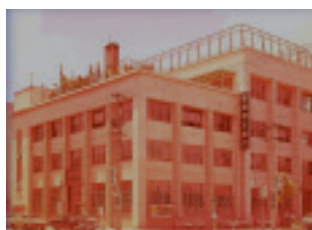
仙台銀行のあゆみ

戦後の経済混乱も治まりつつあった昭和26年、宮城県下の商工業界の資金難から金融の円滑化が強く叫ばれていた中で、各地商工会議所等商工団体の要望に応え、当時の宮城県知事佐々木家寿治氏が金融機関設立を提唱し、宮城県が資本金の4割を出資し昭和26年5月25日振興無尽株式会社が誕生いたしました。

行是「信を万事の本と為す」に立脚し、公正明朗かつ堅実な業務運営により設立の使命である国民貯蓄の増強と中小企業金融の円滑化に寄与することを経営理念に掲げ、昭和26年7月5日に創業いたしました。



行是「信為萬事本」(しんをばんじのもととなす)
我が国銀行の創始者であり、経済道徳合一主義の
提唱者である渋沢栄一氏の揮毫



本店社屋(昭和29年～44年)

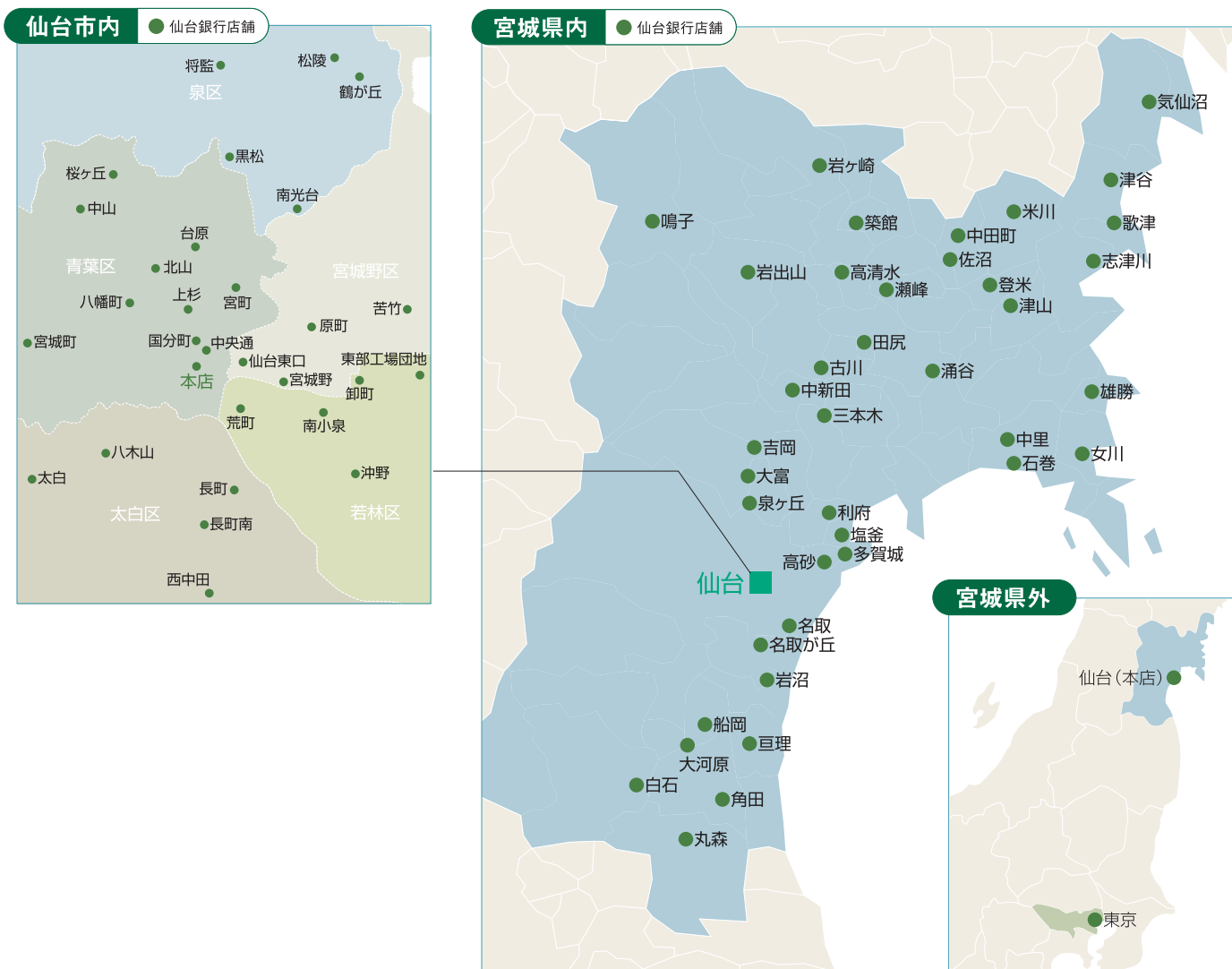


本店(昭和44年竣工)

昭和26年	1951年5月	振興無尽(株)設立	平成10年	1998年3月	徳陽シティ銀行からの営業譲受けに関する契約を締結
	7月	業務取扱開始		4月	ATM祝日稼働開始
昭和27年	1952年5月	相互銀行法の施行により(株)振興相互銀行と商号変更		11月	徳陽シティ銀行営業譲受け完了(譲受け店舗19カ店、うち既存店舗2カ店統合)
昭和36年	1961年7月	創業10周年			預金高7,000億円達成
昭和44年	1969年5月	新本店落成開店(現本店)	平成11年	1999年2月	普通銀行転換10周年
昭和46年	1971年7月	創業20周年	平成12年	2000年4月	仙銀カード(株)設立(同年6月営業開始)
昭和49年	1974年3月	資金量1,000億円達成		5月	新オンラインシステム稼働開始
昭和56年	1981年7月	創業30周年	平成13年	2001年7月	創業50周年
昭和58年	1983年4月	公共債の窓口販売開始	平成14年	2002年1月	ATM365日稼働開始
昭和59年	1984年9月	外国為替公認銀行として業務開始		3月	東北第二地方銀行5行によるATM提携サービス開始
昭和61年	1986年3月	資金量3,000億円達成		4月	中期経営計画「ステップ・アップ・プラン」開始
平成元年	1989年2月	普通銀行へ転換し(株)仙台銀行に商号変更		8月	四半期情報開示の開始
平成2年	1990年5月	第三次オンライン(勘定系)開始		10月	生命保険の窓口販売開始
	7月	仙銀ビジネス(株)設立	平成15年	2003年2月	大東銀行仙台支店営業譲受け
平成3年	1991年7月	創業40周年	平成16年	2004年2月	住宅ローンプラザ開設
平成4年	1992年4月	公益信託「仙台銀行まちづくり基金」設立認可		4月	中期経営計画「ステップ・アップ・プランⅡ」開始
平成6年	1994年3月	預金高5,000億円達成	平成17年	2005年4月	「好品質計画」開始
	4月	信託業務(代理店方式)取扱開始(取扱店本店営業部外9カ店)	平成18年	2006年4月	中期経営計画「好品質計画」開始
	7月	振込機能付ATMによる為替振込サービス取扱開始		5月	(株)セブン銀行とのATM利用提携開始
平成7年	1995年7月	カードによるATM預入サービス開始		11月	岩手銀行とのATM相互開放開始
平成8年	1996年3月	メールオーダーサービス開始	平成19年	2007年6月	本店ビル耐震工事完了
			平成20年	2008年4月	中期経営計画「新・好品質計画」開始

店舗ネットワーク

当行は、営業店71カ店のうち70カ店、ならびに227台のATM（CDを含む、店舗内ATM129台・店舗外ATM98台）を宮城県全域に配置し、お客さまの利便性の向上に取り組んでおります。（平成20年12月末現在）

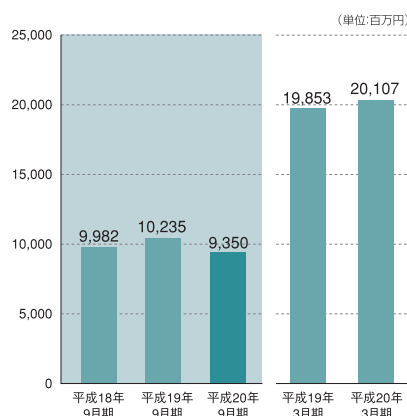


業績のハイライト（個別）

The highlight of achievements

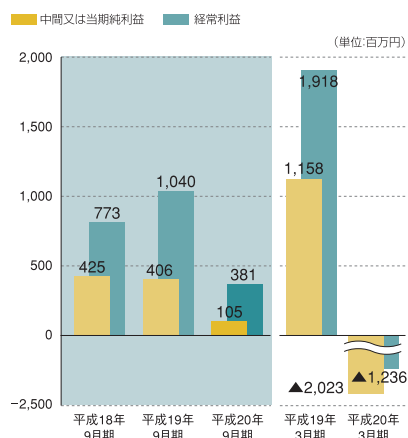
経常収益

経常収益は、有価証券利息配当金や貸出金利利息が減少したことなどから、93億50百万円（前年同期比8.6%減）となりました。



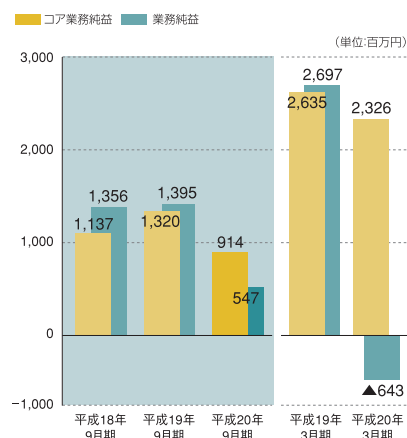
経常利益・中間純利益

経常利益は、米国金融危機に伴う世界的な金融市場の混乱の影響を受け、コア業務純益の減少や有価証券の減損処理などにより、3億81百万円（前年同期比63.3%減）、中間純利益は1億5百万円（前年同期比73.9%減）となりました。



業務純益・コア業務純益

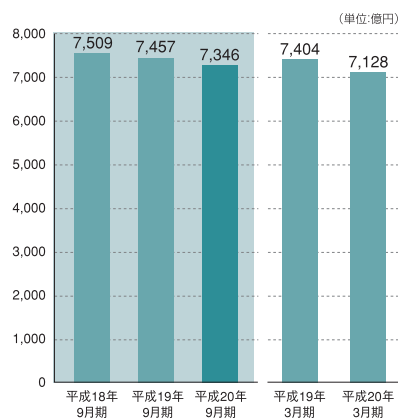
銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、経費全般の削減に努めたものの、業務粗利益が減少したことなどから、9億14百万円（前年同期比30.7%減）となりました。



※コア業務純益とは、業務純益から一般貸倒引当金繰入額及び債券売買等の損益を控除した金額をいいます。

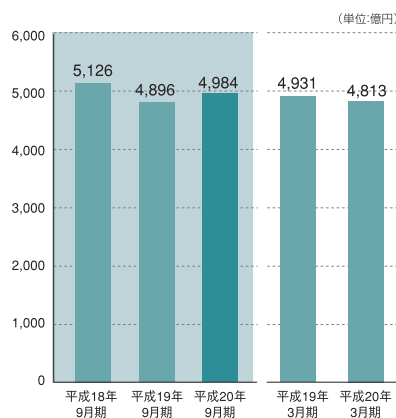
預金・譲渡性預金残高

預金・譲渡性預金残高は、主力の個人預金をはじめ、公金預金などが堅調に推移したことなどから、7,346億24百万円（平成20年3月比218億24百万円増）となりました。



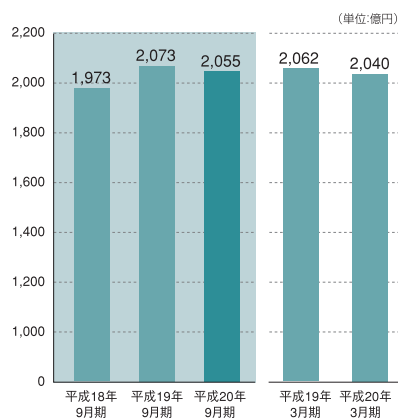
貸出金残高

貸出金残高は、住宅ローン残高が減少したものの、営業力の強化により、中小企業向け貸出が増加するとともに、地方公共団体向け貸出が堅調に推移したことなどから、4,984億1百万円（平成20年3月比170億17百万円増）となりました。



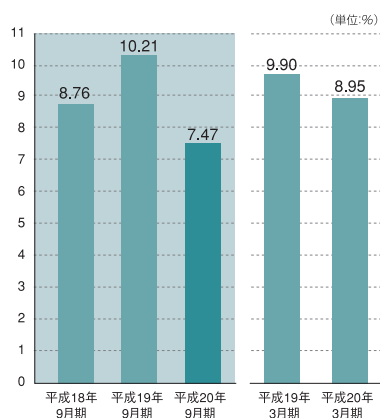
有価証券残高

有価証券残高は、2,055億43百万円（平成20年3月比15億30百万円増）となりました。



単体自己資本比率（国内基準）

単体自己資本比率（国内基準）は、中間純利益1億5百万円を計上したものの、米国発の金融危機による世界的な金融市場の混乱の影響を受けて、「その他有価証券の評価差損」（減損処理までには至らない含み損）が急速に拡大したことから、平成20年3月比1.48ポイント低下し、7.47%となりました。



格付

当行では、第三者による評価をととして、財務内容の健全性と経営の透明性を積極的に開示していくことにより、株主やお取引先の皆さまに当行の経営状況をより深くご理解いただくことを目的に、株式会社日本格付研究所（JCR）より格付を取得しております。

格付機関

株式会社日本格付研究所（JCR）

格付種類

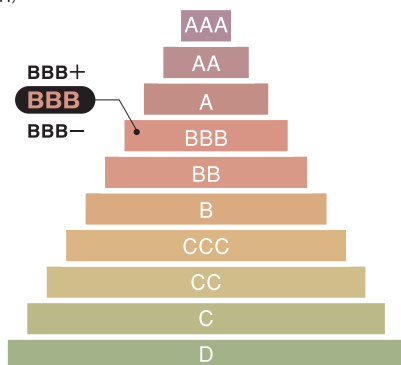
長期優先債務格付

格付

BBB（トリプルBフラット）

見通し

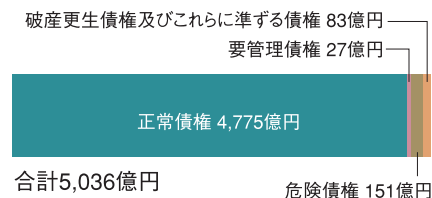
安定的



金融再生法開示債権

金融再生法に基づいた資産査定の結果、銀行の保有する債権（貸出金・支払承諾見返等）のうち、正常債権以外の債権額は、261億63百万円（前年同月比3億85百万円減）となりました。

金融再生法に基づく開示債権額（平成20年9月末現在）



金融再生法開示債権の保全内訳

（平成20年9月末現在、単位：百万円）

	債権額（A）	保全額（B）	担保・保証等	貸倒引当金	保全率（B/A）
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	8,320	8,320	6,155	2,165	100.00%
危険債権	15,124	13,952	12,412	1,539	92.25%
要管理債権	2,717	1,174	692	482	43.21%
正常債権	477,503	263,490	262,633	857	55.18%
合計	503,666	286,938	281,894	5,044	56.97%

破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権。

危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権。

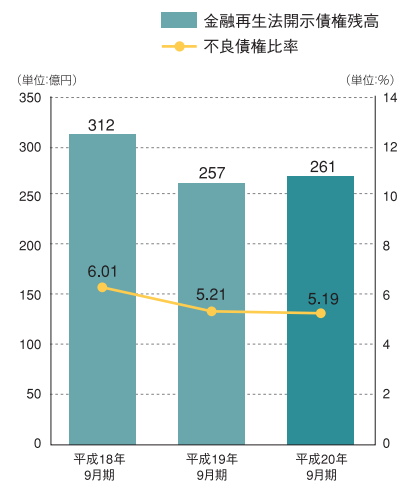
要管理債権

3か月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権。

正常債権

債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、上記3つの債権以外のものに区分される債権。

不良債権比率の推移



好品質計画



仙台銀行の概要（平成20年9月末現在）

創 業 昭和26年7月5日
資本金 74億85百万円
本 店 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
店舗数 71カ店（宮城県内70カ店、東京1カ店）
行員数 787人（男子563人、女子224人）
預金・譲渡性預金 ... 7,346億円
貸出金 4,984億円

株式会社仙台銀行 企画部
〒980-8656 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
TEL.022-225-8241（代）
平成21年1月発行

ホームページ <http://www.sendaibank.co.jp/>



このカタログは大豆油インキで印刷しています